

# 島原半島南部地域産の化石

## その 3 北有馬層産の有孔虫化石

早 田 常 盤 (口加高校)

### 1 まえがき

島原半島南部北有馬町田平地域は、洪積世前期口ノ津層群の上部層である砂質シルトよりなる北有馬層 (大塚裕之, 1966) が広く分布している。この海成層からは、貝化石のほか、有孔虫化石が多産する。貝化石についてはすでに、本誌第 3 号 (1964a) で発表したが、今回は有孔虫化石についてのべてみる。

島原半島南部に分布する古第三系・第四系の海成層からは有孔虫化石が多産する。これらのうち古第三系のものについては浦田英夫 (1959) の研究があるが、第四系については大江貝層に関する有明海研究グループ (1965) の研究があるのみである。

筆者は、この地域の地史究明の目的のため有孔虫化石の研究に着手し、その概要を知り得たので報告する。正確な産地別・層準別の詳細な記載は、次回にゆずることにしたい。なお、産地付近の地質などについては、本誌第 3 号 (1964a) および本号の図を参照されたい。


本研究に際し、有孔虫化石の鑑定は、大阪市立自然科学博物館長千地万造博士にご指導を受けた。厚く感謝する次第である。

### 2 有孔虫化石群集の概要

田平地域の北有馬層より 30 種の有孔虫化石を抽出したが、現在も引き続き抽出中である。これらの群集について現在までに知り得た資料では、

次のような特徴が指摘できる。

- (1) Nonion 属, Cibicides 属の種が多い。
- (2) 砂質有孔虫の Textularia 属の種もかなり含まれる。また浮遊性の Globigerina 属の種も相当数抽出できた。
- (3) 汽水内湾性の Ammonia beccarii キスイコマハリガイ, 暖流浅海種の Hanzawaia nipponica セツキヒラハリモドキ, 暖流浅海内湾性種の Nonion manpukujiense ヒラマキハリガイ, 浅海性種の Quinqueloculina lamarckiana ミスミゴヘヤシラガイ, Quinqueloculina vulgaris マルゴヘヤシラガイなどの現生種が産出する。従って、この海成層は暖海汽水～内湾性堆積物であることが推定される。

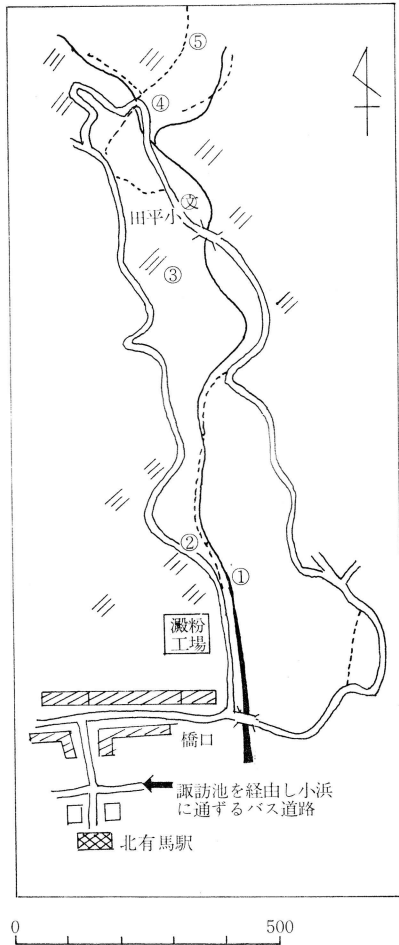
口ノ津層群北有馬層の化石層  (図説明)

- (a) 灰白色～灰色の凝灰質砂質シルト (岩) 層
  - (b) シルト (岩) 層の下部は、粗粒砂および古期円礫が多くなり砂礫 (岩) 層に漸移している。
  - (c) ノミニナ・マメウラシマ・マガキ・ヤグラニシキなどの内湾性の貝化石のほか、多量の小型有孔虫化石を多産する。
- これらの貝化石の中で Chlamys yagurai ヤグラニシキ以外は、現生種である。
- ① 沖積平野を南北に流れる澱粉工場寄りの河床で、巻貝・二枚貝のほか、腕足類のコカメガイ

の化石が若干みいだされる。②よりも化石の採集は容易である。

- ② ①と同じく、ここでも腕足類の化石が含まれている。
- ③ 軟弱な砂礫層に、ヤグラニシキ・マガキが多産し、まれにウニも発見される。
- ④ 黄褐色の軟弱な砂礫層に、偽層理が発達している。
- ⑤ マガキの密集帯がみられ、「化石の産状」の観察には最適である。
  - (a) 化石層は、時代が比較的若いいためか産出化石は石化しておらない。
  - (b) 化石層の下部に大型の貝類化石が多い。

図 北有馬町田平小学校周辺路線図



## 参 考 文 献

阿部徹ほか(1966),新動物図鑑(上),北隆館  
P 42-64

ASANO, K. (1950), Illustrated Catalogue of Japanese Tertiary Smaller Foraminifera, TOHOKU University.

有明海研究グループ(1965),有明・不知火海域の第四系,地団研専報, №11, P 1-79

CHIJI, M. and SILVIO M. LOPEZ (1968), Regional Foraminiferal Assemblages in Tanabe Bay, Kii Peninsula Central Japan, Publication of the Seto Marine Biological Laboratory, Vol. XVI, №2.

千地万造(1968),大阪市深層ボーリング(OD-1)における大阪層群上部の化石有孔虫群について,大阪自然科学博物館研究報告,第21号別刷。

大塚裕之(1966a),口ノ津層群の層序および堆積物,地質学雑誌, Vol. 72, №8, P. 371-384.

——(1966),口ノ津層群の地質構造・化石および対比,地質学雑誌, Vol. 72, №10, P. 491-501.

早田常盤(1964a),島原半島南部地域産の化石(その1),長崎県地学会誌,第3号, P. 8-11.

——(1964b),島原半島南部地域産の化石(その2),長崎県地学会誌,第4号, P. 4-13.

浦田英夫(1959),長崎県島原半島南端の古第三系について(予報),九大教養部地学研究报告, №6, P. 21-28.

(昭和44年7月5日受理)

北有馬層産有孔虫化石表

1. *Ammonia beccarii* (LINNÉ) var. キスイコマハリガイ
2. *A. kawachiensis* (CHIJI)
3. *Anomalina flintii* CUSHMAN
4. *A. glabrata* CUSHMAN
5. *Astrononion gallowayi* LOEBLICH and TAPPAN
6. *Cibicides lobatulus* (WALKER and JACOB) セツキヒラハリガイ
7. *C. refulgens* (MONTFORT)
8. *Dentalia decepta* (BAGG)
9. *Dyocibicides biserialis biserialis* CUSHMAN and VALENTIN?
10. *Entosolenia catenulata* WILLIAMSON
11. *E. hexagonal* WILLIAMSON
12. *E. marginata* (MONTAGU)
13. *E. lucida* WILLIAMSON
14. *E. lacunata* (BURROWS and HOLLAND)
15. *Globocassidulina subglobosa* (BRADY)
16. *Hanzawaia nipponica* ASANO セツキヒラハリモドキ
17. *H. hamadaensis* ASANO?
18. *Lagena sulcata spicata* CUSHMAN and MCCULLOCH
19. *L. pliocenica* CUSHMAN and GRAY
20. *L. laevis* (MONTAGU) ビンハリガイ
21. *Miliolinella oblonga* (MONTAGU)
22. *Nonion manpukujiense* OTUKA ヒラマキハリガイ
23. *Pararotalia murrayi* (HERON-ALLEN and EARLAND)
24. *Poroeponides cribroripandus* ASANO and UCHINO フルイコマハリガイ
25. *Quinqueloculina lamarckiana* D'ORBIGNY ミスミゴヘヤシラガイ
26. *Q. vulgaris* D'ORBIGNY マルゴヘヤシラガイ
27. *Siphogeneria rephana* (PARKER and JONES)
28. *Spiroloculina communis* CUSHMAN and TODD フチトリヒラタシラガイ
29. *Triloculina tricarinata* D'ORBIGNY カドミヘヤシラガイ
30. *T. trigonula* (LAMARCK) ミヘヤシラガイ

(注) 表中の和名は、新日本動物図鑑(上)(1966)による。